

## 教育機関の状況

### [ 歴史資料館・郷土館 ]

#### 【川内歴史資料館】

所在地 中郷二丁目2番6号 (電話 0996-20-2344)  
開館 昭和59年2月11日  
施設 《本館 鉄筋コンクリート造3階建 一部ピロティー》  
・敷地面積 7,523.91㎡ ・建築面積 1,313.90㎡  
・延床面積 1,782.81㎡  
《屋外便所 鉄筋コンクリート造平屋建》  
・建築面積 30.24㎡

#### 常設展示

- ・ロビー展示 —— 川内の地層パネル, 川内地図模型, 渡し舟
- ・考古コーナー(旧石器時代～古墳時代) —— 貝塚はぎとり展示, 古墳石室移築など
- ・歴史コーナー(奈良時代～現代) —— 薩摩国府・国分寺, 新田神社や太平橋など
- ・民俗コーナー —— 復元民家, 漁労, 稲作, 昔の遊びなど
- ・部門別コーナー —— 久見崎造船・平佐焼・岩谷松平・川内大綱引きなど
- ・屋外展示(玄関横) —— 薩摩型船(原寸大)

#### 収蔵資料数

(平成20年4月1日現在)

	考古	歴史	民俗	美術	その他	計
資料数	676	4,061	3,199	310	107	8,353

#### 平成20年度事業

##### 歴史資料館講座

期間 平成20年5月～平成21年2月 全6回

古文書教室(毎月第1土曜日)

講師 福元忠良氏(薩摩川内郷土史研究会会長)  
吉本明弘(川内歴史資料館学芸員)

期間 6月から3月まで 全10回

歴史資料館講演会 薩摩川内郷土史研究会共催(特別展と関連)

講師 徳永 和喜 氏(黎明館調査史料室長)

日時 平成20年10月25日(土)

ミニ企画展(川内の田の神さあ)

期間 平成20年7月23日(水)～8月31日(日)

ミニ企画(終戦記念展)

期間 平成20年8月5日(火)～24日(日)

特別展(近世の文化)

期間 平成20年10月1日(水)～11月30日(日)

ミニ企画展(生活に用いた道具)

期間 平成20年12月23日(火)～平成21年2月1日(日)

収蔵書画展

期間 平成20年1月6日(火)～18日(日)

古文書展

期間 平成20年3月17日(火)～3月22日(日)

### 【樋脇郷土館】

所在地 樋脇町市比野 2 4 4 2 番地 1 (電話 0996-38-0009)

開館 昭和 6 0 年

施設 ・敷地面積 2,319<sup>m</sup>2 ・建築面積 567<sup>m</sup>2

収蔵資料数 (平成 2 0 年 4 月 1 日現在)

	考古	歴史	民俗	美術	その他	計
資料数	491	476	578	30	30	1,605

### 【入来郷土館】

所在地 入来町浦之名 3 3 番地 (電話 0996-44-3111)

開館 平成元年

施設 ・敷地面積 716.70<sup>m</sup>2 ・建築面積 354.86<sup>m</sup>2

・延床面積 312.00<sup>m</sup>2

収蔵資料数 (平成 2 0 年 4 月 1 日現在)

	考古	歴史	民俗	美術	その他	計
資料数	22	81	150	38	798	1,089

### 【上甗郷土館】

所在地 上甗町中甗 4 8 1 番地 1 (電話 09969-2-0001)

開館 昭和 6 0 年

施設 ・延床面積 360<sup>m</sup>2

収蔵資料数 440点

### 【下甗郷土館】

所在地 下甗町手打 1 0 3 1 番地 (電話 09969-7-0419)

開館 昭和 5 8 年

施設 ・敷地面積 1,662<sup>m</sup>2 ・延床面積 442.18<sup>m</sup>2

・建築面積 268.48<sup>m</sup>2

収蔵資料数 (平成 2 0 年 4 月 1 日現在)

	考古	歴史	民俗	美術	その他	計
資料数	72	179	1,310		25	1,586

平成 2 0 年度事業

ふるさと教室「しめなわづくり」

期間 平成 2 0 年 1 2 月 1 3 日(土)

## [ 川内まごころ文学館 ]

所在地 中郷二丁目2番6号(歴史資料館隣接地) (電話 0996-25-5580)  
 開館 平成16年1月30日  
 施設 鉄筋コンクリート造2階建  
 ・敷地面積 7,523.91㎡ ・建設面積 1,162.93㎡  
 ・延床面積 1,537.21㎡

### 常設展示

#### 1階 常設展示室 「改造社に残された二百余名の直筆原稿の世界」

日本文化に旋風を起こした川内出身の大ジャーナリスト山本實彦の足跡と、實彦主宰の総合雑誌「改造」に寄せられた芥川龍之介、谷崎潤一郎等近代文学者たちの直筆原稿・資料を展示。

#### 2階 常設展示室 「有島芸術・とくに里見弴の文芸の世界」と「郷土ゆかりの芸術家たちの世界」

川内ゆかりの有島兄弟、特に里見弴の文芸資料を中心に白樺派の絵画など幅広く展示。作曲家武満徹や画家山口長男、歌人と謝野晶子など郷土に関わりの深い芸術家たちの資料等も展示。

### 川内まごころ文学館で展示顕彰する主な作家・芸術家

里見弴・有島武郎・有島生馬・志賀直哉・武者小路実篤・与謝野晶子・芥川龍之介・谷崎潤一郎・佐藤春夫・菊池寛・小林多喜二・林芙美子・横光利一・高村光太郎・高浜虚子・小林秀雄・山本直純・武満徹・椋鳩十・今井白楊・岩谷莫哀 等

### 一般市民の利用スペース(1階)

企画展示室(市民ギャラリー) 展示用照明やピクチャーレール、展示ウォールを付設し、展示用ローケースを用意した173㎡の展示空間。特別企画展のほか、美術展、書道展、写真展等で市民ギャラリーとして一般に貸出可。

多目的映像ホール 映画館として本格的な映像・音楽機器を設置した約100席のミニシアター。名作シネマ上映会のほか、市民シアター、演奏会、講演会等にも貸出可。

### 出版物

書名	内容	規格	発行部数
図録	平成16年1月30日 川内まごころ文学館オープニング図録「川内文芸の水脈～『白樺』と『改造』の世界を中心に」	A4版 22頁	3,000部
図録	平成16年3月31日 「総合雑誌『改造』直筆原稿収蔵図録～大正・昭和文芸レトロの世界～」	A4版 56頁	2,000部
図録	平成17年2月8日 開館・姉妹館盟約1周年特別企画展「新・有島三兄弟展～いまよみがえる芸術兄弟の軌跡～」図録	A4版 36頁	900部
図録	平成17年10月25日 第2回特別企画展図録「山本實彦生誕120年記念 鹿児島を旅した作家たち」	A4版 34頁	700部
図録	平成18年10月24日 「総合雑誌『改造』直筆原稿収蔵図録2～気韻生動、文士たちの肉声～」	A4版 56頁	400部

図録	平成19年10月23日 図録「薩摩川内の文芸・郷土を彩る14人」	A4版 50頁	700部
----	-------------------------------------	------------	------

収蔵資料数

(平成20年4月1日現在)

	図書	雑誌	特別資料									合計
			原稿	書簡	装丁	書画	印刷物	複製	視聴覚	遺品	その他	
総資料数	2,541	1,252	353	1,562	146	225	235	765	142	357	199	7,777

平成20年度事業

里見淳生誕記念特別講演会 金田一秀穂「言葉の力」

日時 平成20年7月14日(月) 18:30~20:00

場所 国際交流センター

第4回特別企画展「三姉妹館合同企画展『有島三兄弟 - それぞれの青春』」(予定)

期間 平成20年10月21日(火)~11月24日(月)

第4回ミニ企画展「装丁の美 挿絵の妙」(予定)

期間 平成21年2月17日(火)~3月15日(日)

名作シネマ上映会

全27本上映

期間 平成20年4月~21年3月

まごころ文芸講座

・エッセイ教室・唱歌童謡講座・クラシック音楽講座・少年少女文芸講座・古典講座

期間 平成20年4月~21年3月

文学トーク

全5回実施

期間 平成20年6月~21年2月



展示「改造社に残された二百余名の直筆原稿の世界」

## [ 少年自然の家 ]

### 1 名称及び所在地等

名 称 薩摩川内市立少年自然の家  
 所 在 地 永利町 2 1 3 3 番地 1 5 ( 電話 0996-29-2114 )  
 設 立 昭和 6 2 年 4 月 1 日  
 開 所 昭和 6 2 年 7 月 2 3 日

### 2 施設の概要

< 建物 > ( 面積 4, 3 0 3 . 6 8 m<sup>2</sup> )

研修管理棟 1, 6 4 6 . 1 4 m <sup>2</sup>	キャンプ管理棟 1 2 2 . 1 7 m <sup>2</sup>
研 修 和 室 ( 4 5 人 )	野 外 炊 飯 棟 1 1 7 . 1 2 m <sup>2</sup>
視 聴 覚 室 ( 4 8 人 )	野 外 便 所 5 0 . 7 6 m <sup>2</sup>
工 作 室 ( 4 5 人 )	公 用 車 車 庫 2 8 . 7 1 m <sup>2</sup>
読 書 室 ( 4 5 人 )	自 転 車 車 庫 3 9 . 0 0 m <sup>2</sup>
集 会 室 ( 1 0 0 人 )	ふれあい工 房 1 9 8 . 0 0 m <sup>2</sup>
プラネタリウム室 ( 5 8 人 )	森 の 遊 学 館 3 2 4 . 0 0 m <sup>2</sup>
プレイホール 4 3 0 . 0 0 m <sup>2</sup>	野外宿泊施設 ( 3 棟 ) 6 4 . 9 8 m <sup>2</sup>
食 堂 ( 1 2 0 人 )	陶 芸 窯 7 6 . 0 0 m <sup>2</sup>
浴 室 ( 大浴室 4 0 人用 2 室 )	炭 焼 窯 1 4 . 4 4 m <sup>2</sup>
( 小浴室 1 人用 2 室 )	
宿 泊 棟 1, 1 9 2 . 3 6 m <sup>2</sup>	
宿 泊 室 1 2 室	
( 各室 1 6 人 合計 1 9 2 人 )	
和 室 2 室 ( 各室 2 4 人 )	
リーダー室 4 室 ( 各室 2 人 )	
( 宿泊定員 2 4 8 人 )	

< 野外活動施設 > ( 約 1 2 8 , 0 0 0 m<sup>2</sup> )

キャンプの森 ( テントサイト 3 8 基 )	太陽の森
野外炊飯の森	自転車モトクロス場
キャンプファイヤー場	運動広場
冒険の森施設 ( 2 3 施設 )	チームワークゲーム施設 ( 1 4 施設 )

### 3 職員構成

所 長	1 名	所 長 代 理	1 名
管理グループ長	1 名	研修指導グループ長	1 名
管理グループ員	1 名	研修指導グループ員	3 名
" ( 養護 )	1 名	指 導 員 ( 嘱託 )	7 名
施設管理補助員 ( 嘱託 )	1 名	宿 直 警 備 員 ( 嘱託 )	2 名

### 4 利用のきまり

#### (1) 利用できる人

- ア 幼稚園・保育園の園児，小・中・高校の児童・生徒 5 人以上の団体及びその指導者
- イ 子ども会，スポーツ少年団等の 5 人以上の少年団体及びその指導者
- ウ その他，教育委員会が適当と認める者 ( 社会教育関係団体など )

(2) 休所日

ア 毎週月曜日

イ 国民の祝日と定められている休日

ウ 1月2・3・4日及び12月28・29・30・31日

(3) 使用料( )は一般

研修施設使用料 1人1研修につき100円(150円入)

宿泊棟使用料 1人1泊につき100円(150円)

テント使用料 1人1泊につき100円(150円)

寝具使用料 1人1セットにつき100円(150円)

野外宿泊施設使用料 1人1泊につき100円(150円)

陶芸窯(穴窯) 1団体1回につき2,000円(3,000円)

陶芸窯(電気窯)本焼 1団体1回につき 人

i7”~

±i7”~

平成20年度 少年自然の家主催事業一覧

区分	番号	事業名	目的	期 日	対 象	募集人員
指導者育成研修	1	集団宿泊学習担当者 事前研修会	学校が計画する集団宿泊学習を効率的に実施するため、施設の機能及び活動内容や施設と学校の役割分担について理解を深め、望ましい研修活動プログラムの企画や展開方法について研修する。	4月15日(火)	前期に利用する学校の担当者	60人
				8月8日(金)	後期に利用する学校の担当者	20人
	2	てらやまんちアウトドア活動セミナー	アウトドアの活動内容について実技研修を通して理解を深め、指導方法や展開方法を研修する。	2月21日(土) ~22日(日)	アウトドア活動に関心がある人	20人
自然に親しむ活動	3	夏休みウィークエンド 「プラネタリウム開放」	夏休みの有意義な過ごし方の一つとして、週末にプラネタリウムを開放し、星や宇宙について学び、自然科学に対する興味関心を高める。	8月2日(土)・3日(日) ・9日(土)・10日(日) ・16日(土)・17日(日) ・23日(土)・24日(日)	全市民	各回 50人
	4	ふれあいを深める 「ファミリー自然体験隊」	親子が様々な野外活動や創作活動に挑戦し、ふるさとの自然のすばらしさを体感しながら家族のふれあいを深める。	4月13日(日) 8月16日(土)~ 17日(日) 11月9日(日) 2月15日(日)	家族(親子)	毎回 30人
	5	夏休み親子工作教室	夏休みの工作課題の作品制作を支援する。	8月10日(日)	小学生とその保護者	40人
	6	星座ロマン体験 「出張星空観望会」	地域に出掛け、季節の星座を観察する機会を提供し、星や宇宙への興味関心を高めるとともに、自然豊かなふるさと(地域)づくりを喚起する。	7月27日(日) ・・上甕 10月10日(金) ・・川内 11月7日(金) ・・祁答院 2月20日(金) ・・川内 2月27日(金) ・・樋脇	全市民	各回 50人
	7	スターウォッチング in 寺山 「少年天文教室」	電波や光学を利用した望遠鏡による天体観察やプラネタリウム学習、天体に関する模型等の製作を通して、星座や衛星・惑星の運行等の自然現象を理解させ、自然科学(宇宙)への探求心を育む。	3月7日(土)~8日(日)【1泊2日】	小学校4年生以上、中学生	50人
	8	てらやまんち森の学校	青少年をはじめ多くの市民が寺山の自然に親しみ、自然の素材を活用した創作活動を通して、作る楽しさや感動を味わうことで、生涯学習へと繋げる機会とする。	4月9日(火) ・・陶芸 6月20日(金) ・・木工 7月4日(金) ・・草木染め 9月12日(金) ・・木工 11月5日(水) ・・陶芸 1月27日(火) ・・竹炭	全市民 (内容により制限あり)	各回 30人

区分	番号	事業名	目的	期 日	対 象	募集人員
体験的 適応指導教室	9	フレッシュin寺山	心に悩みを持つ児童生徒を対象に、日常生活から離れた寺山の自然の中で様々な体験活動を通し、心のリフレッシュを図りながら、人との関わり方や集団生活等への適応能力の育成など自立に向けた支援活動の場とする。	6月13日(金) 7月11日(金) 9月12日(金) 10月10日(金) 11月14日(金) 12月12日(金) 1月16日(金) 2月13日(金) 3月6日(金)	市内の 小・中学生 及び保護 者	各回 希望者
野 外 活 動	10	夏のアドベンチャー 「薩摩川内ぼっけもん の旅」	甑島の険しい大自然の中で様々な野外活動に挑戦しながら、やりぬく力や冒険心・協調性などの「生きる力」を育むとともに、豊かで便利な自分たちのふるさとを再発見する機会とする。	7月25日(金) ~28日(月) 【3泊4日】	市内の小 学校5年 生以上中 学生・高校 生	50人
	11	冬のアドベンチャー 「薩摩川内ぼっけもん の挑戦」	冬期の野外宿泊や体験活動にチャレンジし、仲間との友情を深めながら、思いやりの心やどんな困難にも打ち勝つ強い精神力などを養う。	12月25日(木) ~27日(土) 【2泊3日】		40人
文 化 事 業	12	星と音楽の夕べ 「星空コンサート」	初秋のふるさとの大パノラマ(夜景)や満天の星空を背景に、野外コンサートを行い、寺山にこだまする演奏を鑑賞しながら、音楽の楽しさを体感するとともに、参加者同士の交流を深め合う。	9月6日(土)	全市民	300人
	13	新年を迎える手作りの つどい	新年を迎える生活伝承文化として継承されている「しめなわ・ミニ門松」等の手作り体験活動を行いながら、正月の意義やふるさとに伝承されている生活文化の継承意識や家庭・地域の教育力の高揚を図る。	12月14日(日)	全市民	100人
総 合 主 催	14	少年自然の家 オープナー	全国少年自然の家連絡協議会が提唱する「全国少年自然の家自然体験活動推進月間」の趣旨を生かし、小・中学生や家族等を中心に、様々な自然体験活動の場を提供し、少年自然の家の理解や利用促進を図る。	10月19日(日)	全市民	300人
	15	寺山子どもの日 フェスタ (せんだい宇宙館と共催)	少年自然の家及びせんだい宇宙館の施設を使って、親子やグループ等で野外や創作活動、プラネタリウム学習などに取り組み、参加者同士の交流や自然と触れ合う楽しさ、豊かなふるさと薩摩川内の素晴らしさを体感する機会とする。	5月5日(月)	全市民	2000 人
	16	てらやまんちフェスタ		2月1日(日)		

区分	番号	事業名	目的	期日	対象	募集人員
施設開放	17	てらやまんち冒険の森開放	所内の施設を市民に一部開放し、施設の理解を深めてもらうとともにその活用を図る。	2月15日(日) 3月22日(日)	全市民	各回 50人
	18	穴窯火入れ	穴窯利用の促進を図るとともに、陶芸愛好者の相互の交流を深め、さらなる意欲付けを図る。	11月25日(火) ~27日(木) 3月10日(火) ~12日(木)	全市民	各回 50人



冬のアドベンチャー「薩摩川内ぼっけもんの旅」



冒険の森（モンキーブリッジ）での活動